

会 議 名			【千駄谷小学校・原宿外苑中学校】第8回建て替え準備委員会
日 時			2026年7月30日（木）15:00～16:30
場 所			原宿外苑中学校 体育館
出席者 敬称略 順不同	事務局（渋谷区）	区	教育長 教育委員会事務局次長 未来の学校担当課長 教育政策課 学校施設整備第一係、第二係 施設整備課 施設整備第一係 計8名
	事務局（事業者）	明豊	明豊ファシリティワークス株式会社 計2名
	設計者等	設計者等	INA 新建築・平田晃久建築設計共同企業体 計11名
	渋谷区小中一貫教育校 （千駄谷小学校・原宿外苑中学校）建て替え準備委員会委員等	委員等	原宿外苑中学校 副校長 千駄谷小学校 校長 学校・地域関係者 計16名（委員欠席数：8名）
資料			第八回建て替え準備委員会資料

内 容（カッコ内は発言者） ※発言者は、略称により記載します。	
1. 開会 ・ 半数以上の委員に出席いただいているため、会を開会します。（区） ・ 今年度最初の建て替え準備委員会の開催のため、新しい委員の方と事務局の紹介を行います。（区）	
2. 議題 （1） 建て替え準備委員会のスケジュールについて ・ 次回の建て替え準備委員会は基本設計の取りまとめとして、12月頃の開催を予定しています。（区） （2） 基本設計の中間報告 ・ 以下のA・B・C項目に沿い、基本設計の現状の計画概要について説明（区、設計者等） A：基本計画からの主な変更点（平面形状および断面形状の変遷等） B：多様な学びをささえる新しい教育環境 C：基本計画段階における委員会意見への対応 →小学校と中学校で日課（チャイム・授業時間）が異なるため音の干渉を懸念していましたが、吹き抜けがなくなること で音の課題は解消されやすいと思います。また、自然光を取り入れやすい計画となっている点も、毎日学校で過ごす子 供たちにはとても大切なことです。段差によって作り出される空間は、子供たちの活動やクールダウンの場として有効であ り、渋谷の新しい教育にふさわしい魅力のある学校だと感じます。（千駄谷小学校 校長） （質疑応答） ・校舎内のスロープは、角度に換算するとどの程度になりますか。（委員等） →角度は約2.3°です。バリアフリー法に基づく車椅子用のスロープ基準（約4.8°）と比較しても、非常に緩やかな傾斜で す。（設計者等） →人間の身体感覚では約4°から傾斜を明瞭に認知すると言われているため、約2.3°は非常に緩やかな傾きと言えます。 （設計者等） ・35人クラスにおいて、一斉に主体的な学びを展開するのは指導上難しいのではないのでしょうか。（委員等） →今後の指導体制として、教員のみならず外部専門人材も含めた多様な大人が学習に関わる体制を想定しています。 （区）	

→従来の学習指導要領での授業も担保しつつ、新しい多様な学び方を誘発・促すような校舎空間を計画していきます。

(設計者等)

- ・正門の位置はどこになりますか。また、地域開放用の門は正門と兼用になりますか。(委員等)

→正門は敷地北西角に配置し、地域開放用の門は児童・生徒用の正門とは分離する予定です。(設計者等)

- ・北東側の公道はハザードマップ上、浸水リスクがありますが、建物への浸水に対してどのような対策を講じていますか。(委員等)

→建物への公道からの浸水を防ぐための対策を講じるとともに、公道管理者とも連携しながら、浸水リスクの低減に努めてまいります。(明豊)

- ・独立した図書室を設けずに本をラーニング・コモンズへ分散配置する計画ですが、学校司書の管理や運用方法はどのようになりますか。(委員等)

→司書の配置や運用方法について、今後検討を進めます。(設計者等)

- ・地域開放時の安全対策はどのように考えていますか。(委員等)

→開放管理室を設けて、出入管理を徹底します。また、学校利用と地域利用の時間帯や動線を分離して運用管理を行いますので、児童・生徒と地域利用者が学校敷地内で混在しない計画とする予定です。(区)

- ・ラーニング・コモンズの防犯対策はどのようになっていますか。(委員等)

→ラーニング・コモンズは、大人が広く見渡すことができ、死角が生じないように計画する予定です。(区)

- ・学校利用と地域利用のエリアの割合について、将来の需要に応じて変更することは可能ですか。(委員等)

→将来的な用途変更を考慮した柔軟な計画としています。また、学年ごとに、普通教室へ転用可能な少人数教室を1室ずつ設けており、児童・生徒数の増加にも対応可能です。(区、設計者等)

- ・子どもの好奇心を刺激するよう、ラーニング・コモンズ内のくぼみ(アルコブやデン等)のような場所には、アート性を持たせてほしいです。(委員等)

→今後検討を深めます。(設計者等)

- ・学年ごとに使用するフロアが分かれていますか。(委員等)

→高学年を上層階、低学年を下層階に配置する計画です。(区)

→家具等は、利用する児童・生徒の年齢・体格に応じたものを検討しています。(設計者等)

- ・環境配慮や省エネに対する取り組みはありますか。(委員等)

→スローブ形状を生かした自然換気と自然採光計画により、建物のエネルギー消費量の削減を行います。(設計者等)

→ZEB Readyの認証取得を目指しています。(区)

- ・建築資材高騰を踏まえたコスト削減策・コスト対策はどのように講じていますか。(委員等)

→施工性と経済性に配慮した設計を進めています。(設計者等)

- ・防災備蓄倉庫の規模はどの程度ですか。(委員等)

→独立した防災備蓄倉庫を2か所設けて、それぞれ教室1室分程度の広さを確保する予定です。(設計者等)

- ・校歴保管や展示について、どのように考えていますか。(委員等)

→廊下の壁面やラーニング・コモンズ内など、児童・生徒が日常的に目に触れる場所に展示できるよう検討しています。(設計者等)

- ・校庭の舗装素材および各階テラスの緑化計画はどのようになっていますか。(委員等)

→校庭は人工芝を第一候補として検討しています。屋上は植栽等での緑化を検討しています。(設計者等)

- ・不登校児童・生徒への配慮をしてほしいです。(委員等)

→多様な居場所づくりを含め、今後検討を進めます。(設計者等)

3. 閉会